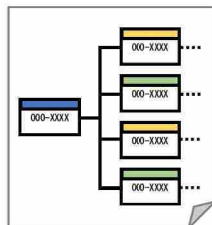


7. 行動計画

< 予防期 >

- 地域への防災に対する啓蒙のために合同訓練・研修を主催する
- 災害発生時の連絡網を整備する
- 各単町に対し備蓄品・災害対応資機材の情報を提供する
- 地域の災害ログ（熊出没等）の収集・公開を行う



< 発災直前（主に水害時） >

- 気象庁からの警報発令を契機に LINE で一斉連絡（注意喚起）を行う



< 発災・対応期 >

- 町連の連絡網（LINE）を使った情報収集・情報共有を行う
- 行政、警察・消防・学校・病院、他町連との連絡・交渉を行う
- 被災状況、避難所開設状況、在宅避難状況の把握に努め、その被災避難情報の発信を行う



< 復興期 >

- 罹災証明の窓口および助成金の紹介、支援金・義援金受付（用途配分の検討）を行う
- 仮設住宅（貸家を含む）の設置支援を行う
- 計画の検証と見直し（PDCA）を実施する



西岡町内会連合会地区防災計画

地区防災計画

令和 6 年 10 月

1. はじめに

阪神淡路大震災以降、自然災害に対して危機管理が叫ばれるようになり事前の対応の必要性が明らかとなった。一方、東日本大震災を経て災害発生時における「行政機関による初動対応の限界」が顕著となり、自らの命は自らで守る「自助」と地域防災として「共助」の大切さが指摘されているところである。

西岡地区町内会連合会（以下 町連と記述）としても「共助」による地域防災力のアップのために地区防災計画に取り組むものである。

2. 地域の特性

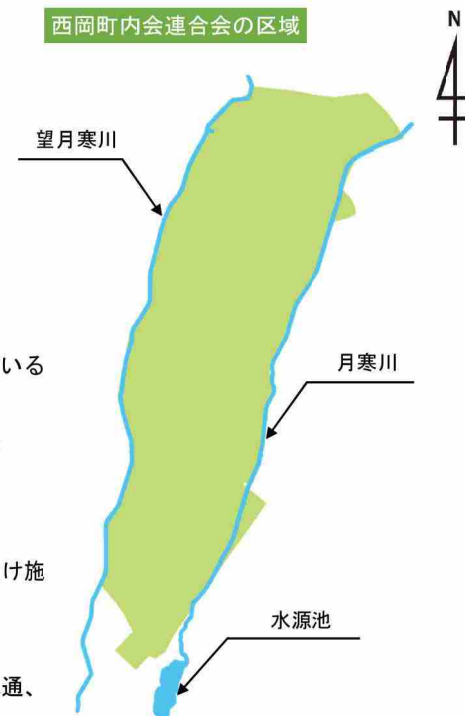
[自然特性]

- 南北に長い地区である
- 水源池がある
- 丘陵地であり傾斜地が多い
→ けがけ崩れの可能性あり
- 月寒川と望月寒川にはさまれている
→ 河川の氾濫の可能性あり
- 月寒断層がある
→ 直下型地震の可能性あり
- 地区の後背地に豊かな山林が形成されている
→ 山林火災の可能性あり
- 沿岸からは遠く、津波被害の心配はなし

[社会特性]

- 木造住宅、戸建て住宅が多い
- 高齢化が進み、要介護者の数や高齢者向け施設の数が増えている
- 大学があり学生が多い
- 交通の要衝（羊ヶ丘通、五輪通、水源池通、福住桑園通など）

西岡町内会連合会の区域



3. 想定される自然災害

[地震]

- 2018年9月6日に発生したブラックアウトは2日間におよび、道路では信号が消え、マンションの断水など様々な影響を及ぼした。
- 月寒断層による直下型地震が発生する可能性があり、住宅の損壊のほか、余震の不安により相当数の避難者が想定される。



[風水害]

- 西岡地区は大木が多く、2019年の台風による強風で大木が倒れ、さらに停電と共聴テレビの停波を招いた。
- 月寒川と望月寒川にはさまれており、河川氾濫の可能性はある。しかし被害世帯数は少ないものとみられ、被害にあった家屋の近くの避難所のみで対応可能と想定される。

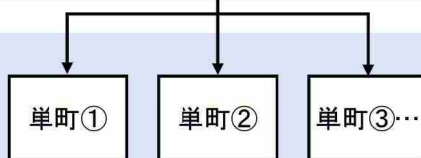


4. 町連と単町の関わり

[町連の役割]

- 情報/連絡体制の確保
- 単町、自治会間の連絡および情報共有
- 単町間の役割統制、リソースの調整
- 町内会をまたがる事案の調整や手配
- 行政との窓口、対外交渉の窓口

町連



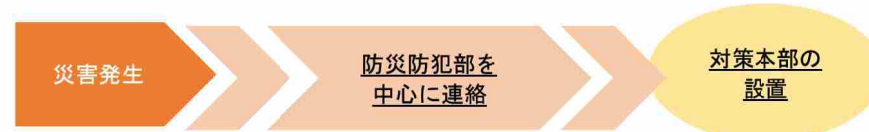
[単町の役割]

- 避難救援の実行
- 自主防災規定を持つ単町は自主防災規定の運用を優先

- ・ 町連の防災計画と単町の防災計画はそれぞれの役割を反映して作成する。
- ・ 単町で防災計画を作成する場合には町連に連携する項目（連絡体制等）を盛り込むことを要望する。

5. 町連の組織体制

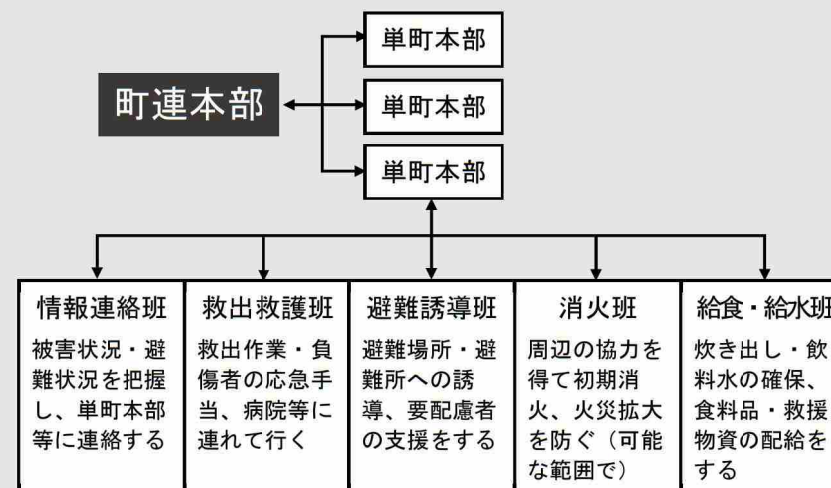
災害発生時の町連の対策本部は防災防犯部を中心として連絡ネットワークによって確立する。



6. 単町防災本部の組織図モデルケースと動きの例【参考】

参考として、災害発生時に単町で防災本部を設置する際の組織図のモデルケースと、単町本部の動きの例を示す。

[組織図のモデルケース]



[単町本部の動きの例]



- ・ すでに規定のある単町は、その規定での運用を優先する。
- ・ あくまで参考であり、単町の実状に合わせる。



震度7
震度6強
震度6弱
震度5強
震度5弱

想定される揺れの強さ

土砂災害警戒区域

・お年寄りが多い(団地)
・移動が困難
・若い人が少ない
・避難所ではなく、近所の頑丈な家に避難
・アメニティに避難

凡例

指定緊急避難場所 兼 指定避難所(基幹)

- 災害から身を守るため緊急に避難する場所です。
- 災害の種類ごとに指定しています。

指定避難場所(地域)

- 避難者が一時的に滞在する施設です。
- 施設管理者等により必要に応じて開設されます。

指定緊急避難場所

指定避難場所(地域)

指定避難場所(地域)

凡例

- 自宅
- 単位町内会
- 避難ルート
- 危険箇所
- 危険箇所意見
- その他意見

B

札幌平岸高校

羊丘中

平岸

区センター

澄川小

澄川中

西岡児童会館

西岡北小

札幌大学

西岡会館

雪の状態では
すれ違い不可

坂道が急

坂道が急

プロパンの利用が多い
古い家屋が多い(8割程度)

除雪されている

古い家屋有

信号が止まる可能性有

側道が凍結している
可能性有土砂崩れの危険有
隣は空家が多い

ロードヒーティング

観照寺

西岡中

西岡南小

82

西岡福住

地区センター

橋の崩落は
無いと思うL型擁壁が倒壊
する危険有

西岡児童会館

西岡北小

信号

階段

震度6弱では倒壊
しない管理棟有り
(とどまる選択)水道タンク有(危険)
震度5以上の時
マニュアル有

擁壁が倒壊する危険有

地形が崖で、住民が不安視している

ガソリンスタンド

水道タンク

震度7
震度6強
震度6弱
震度5強
震度5弱

想定される揺れの
強さ

土砂災害警戒区域

凡例

指定緊急避難場所
兼 指定避難所(基幹)

- ・災害から身を守るため緊急に避難する場所です。
- ・災害の種類ごとに指定しています。

指定緊急避難場所

指定避難所(地域)

- ・避難者が一時的に滞在する施設です。
- ・施設管理者等により必要に応じて開設されます。

JR・駅

市電・駅

地下鉄・駅

国道・主要道路

区界

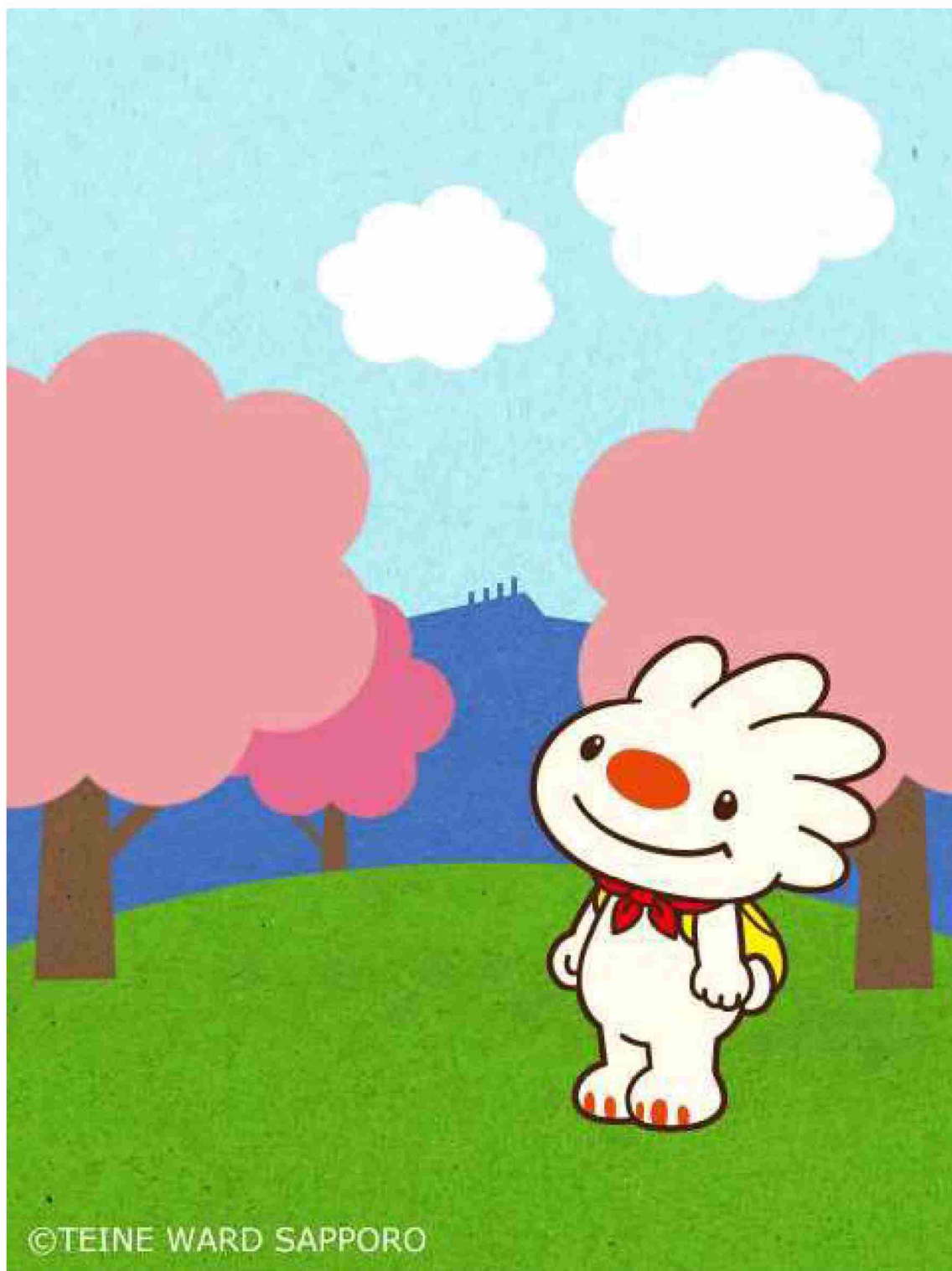
凡例

- 自宅
- 単位町内会
- 避難ルート
- 危険箇所
- 危険箇所意見
- その他意見





前田ゆたか町内会 地区防災計画



令和6年10月

目 次

はじめに	1
① 地区の特性	1
② 想定される大雨災害	1
③ 雨が降り続いたときの行動	2
④ 洪水避難地図（新川の氾濫による浸水想定）	3
⑤ 避難	4
⑥ 日頃の備え	5
⑦ 個別避難計画	6
⑧ 前田ゆたか町内会自主防災会 組織図	6
⑨ 今後の活動及び活動目標	6
（資料） 前田ゆたか町内会防災マップ	
（資料） 洪水避難地図、内水氾濫避難地図、液状化危険度図	

はじめに

令和5年5月に、前田ゆたか町内会は創立50周年を迎えました。わずか35世帯での発足から、現在では600世帯に迫る規模にまで発展しています。

その間、道路や上下水道などのインフラ整備も進み、現在では恵まれた住環境となっていますが、新川に隣接している立地から、札幌市浸水ハザードマップでは、新川が氾濫することで多くの住宅が2階まで浸水し、場所によっては木造家屋が倒壊する恐れもあるとされています。近年の気候変動による他都市での豪雨の状況を見ると、私たちの地域でも、いつ洪水被害にあってもおかしくないと危惧しているところです。

このことから、このたび長年の懸案であった洪水被害を想定した地区防災計画を策定いたしました。本計画の下、防災への認識を共有し、避難訓練等を重ねることで、前田ゆたか町内会に住む皆さんの命を守る行動につなげていきたいと考えています。

令和6年10月1日

前田ゆたか町内会 会長 山岸 裕

① 地区の特性



(地震)

- ・ 前田ゆたか町内会の区域では、最大で震度6強から7の地震が予想されています。
- ・ 地震の発生による液状化の危険度が高い区域とされています。(札幌市地震防災マップから)

(浸水)

- ・ 前田ゆたか町内会では、川が氾濫した場合に、1階部分(0.5m以上)が浸水する区域と2階部分(3m以上)まで浸水する区域のほか、一部3階以上(5m以上)が浸水する区域もあり、新川沿いでは木造家屋が倒壊する恐れもあるとされています。(札幌市浸水ハザードマップから)
- ・ 自宅がどこの区域にあるのか、後のページの洪水避難地図で確認してください。

② 想定される大雨災害



(新川)

- ・ 新川は、氾濫を繰り返していた、かつての琴似川や発寒川流域の治水等を目的として開削された二級河川で、当時は氾濫のないようにと整備されていますが、近年の気候変動による長時間に及ぶ集中豪雨では、氾濫がないとは言い切れません。

(大雨による災害)

- ・大雨による災害には、河川氾濫と内水氾濫、土砂災害の3つがありますが、前田ゆたか町内会では、河川氾濫と内水氾濫に注意が必要です。
- ・河川氾濫とは、川の水位が上昇して、水が堤防の上を越える、または、堤防が壊れて水が溢れ出る現象です。また、内水氾濫とは、雨水を河川に流す排水が追い付かずに、マンホールや側溝から水が溢れ出る現象です。
- ・30cm 水が付くと、車は進まなくなると言われていますので、歩いて避難する必要があります。

③ 雨が降り続いたときの行動



(心得)

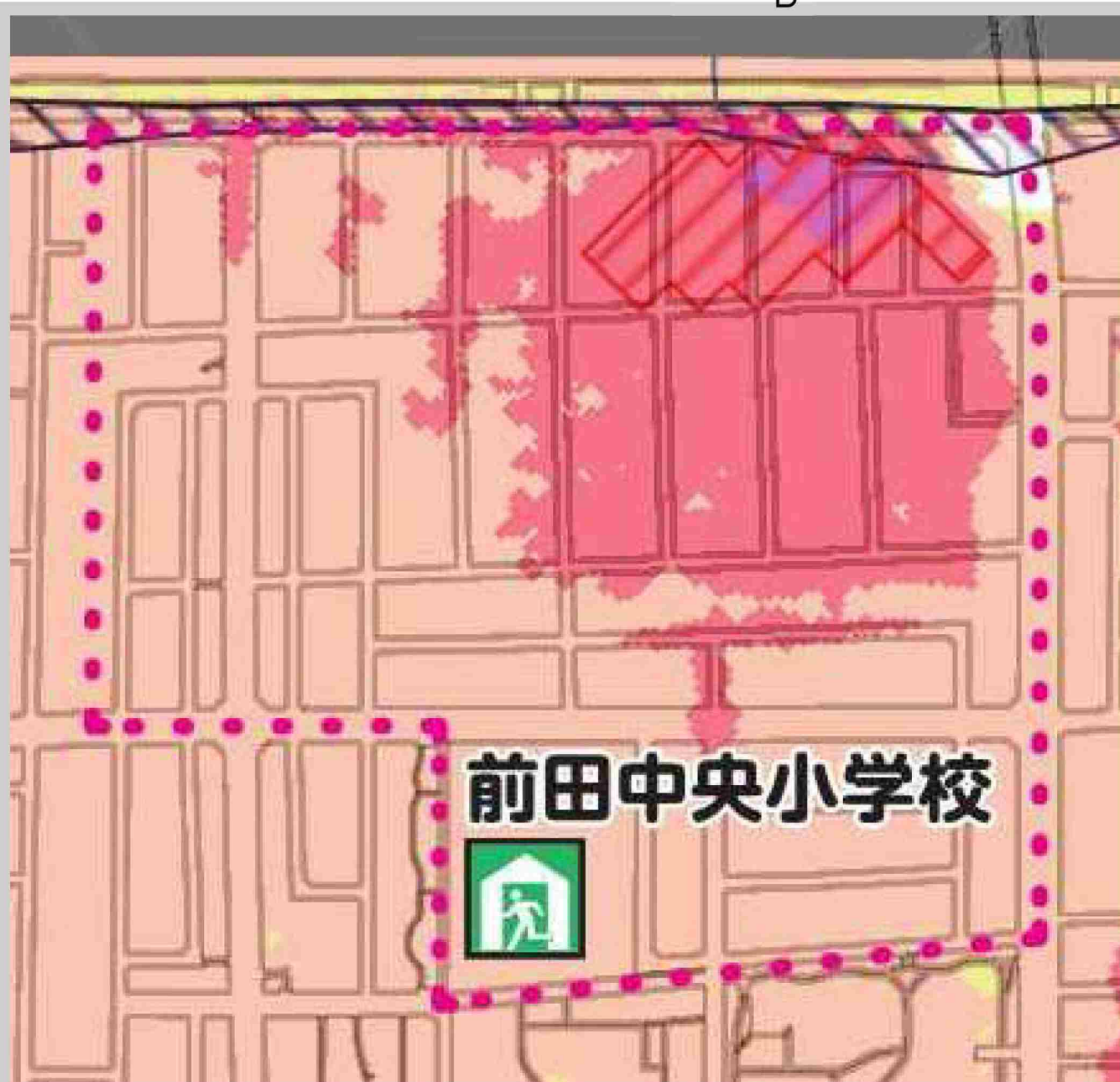
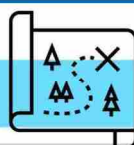
- ・地震と違い、雨は降り始めてすぐに災害が起こるわけではありません。災害になる前に正しく行動することで、命を守ることができます。
- ・「まだ大丈夫」「きっと大丈夫」という先入観が、逃げ遅れにつながります。情報に基づいた早めの行動が大切です。
- ・雨が止んでも、川の水位は上昇し、氾濫の恐れは続きます。危険な場所には、決して近づかないようにしましょう。

(時間の経過と河川等の様子)



※ 大河川では水位の上昇に時間がかかるため、雨が止んでから氾濫することがあります。
※ 自分の地域に雨が降っていないときも、上流の雨で氾濫することがあります。

④ 洪水避難地図（新川の氾濫による浸水想定）



10m 以上	3階以上が浸水。場所によっては家が破壊され、流失するおそれ。
5m 以上 10m 未満	
3m 以上 5m 未満	2階まで浸水。場所によっては家が破壊され、流失するおそれ。
0.5m 以上 3m 未満	1階部分が浸水。床上が浸水。
0.5m 未満	大人のひざまでつかる。床下まで浸水。

 流速が早く、木造家屋が倒壊するおそれのある区域（氾濫流）

- ・ 新川が氾濫することで発生する浸水を想定した地図です。浸水の深さに応じて、色別に表示しています。
- ・ 自宅がどこにあるのか、確認しておきましょう。

⑤ 避難



(風水害の警戒レベルによる避難行動)

- ・ 建物の 2 階までの浸水が想定されている区域では、自宅での緊急安全確保(垂直避難)は危険になります。
- ・ 避難に時間のかかる方は警戒レベル 3 で、その他の方は警戒レベル 4 までに避難を開始してください。



(出典 | さっぽろ防災ハンドブック)

(情報収集・避難開始)

- ・ 雨が降り続けているときには、テレビやラジオ、インターネットで、随時気象情報を確認してください。
- ・ 上の警戒レベルに注意し、警戒レベル 2 の時点で非常持出品などを確認、警戒レベル 3 と 4 の時点では躊躇せずに避難を開始してください。

(避難場所)

- ・ 最寄りの指定避難所は、前田中央小学校になりますが、どこの指定避難所に避難してもよいことになっています。
- ・ 後のページの「前田ゆたか町内会防災マップ」で、自宅から避難場所へのルートを確認してください。また、時間があるときに、実際に歩いてみて、ルート上に危険となる場所がないかなど確認してください。
- ・ 親戚や知人宅に避難することも有効です。普段から相手方に相談しておきましょう。その際、車で向かうときには、特に早めに移動を開始する必要があります。

⑥ 日頃の備え



(非常持出品の例)

小中学校などの指定避難所に備蓄物資はありますが、最低限の用意しかありません。すぐに持ち出せるよう自分に必要なものを非常持出品として準備しておきましょう。

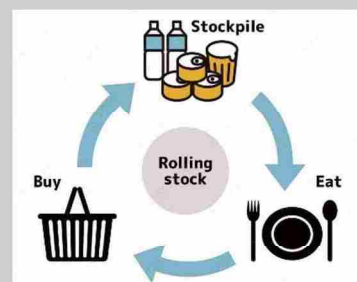
- | | |
|---|---|
| ☐ 現金（10 円や 100 円硬貨を含む） | |
| ☐ 健康保険証、身分証明（運転免許証等） | |
| ☐ 携帯電話等の充電器やモバイルバッテリー | |
| ☐ 懐中電灯、ヘッドライト | ☐ 携帯ラジオ |
| ☐ 衣類（防寒着や下着等）、軍手、タオル | ☐ 洗面用具、歯ブラシ、生理用品 |
| ☐ レジャーシート、スリッパ | ☐ 携帯トイレ |
| ☐ 救急セット、常備薬 | ☐ マッチ、ライター |
| ☐ 飲料水（500ml×2 本程度） | ☐ 非常食、お菓子 |
| ☐ | ☐ |

(備蓄品の例)

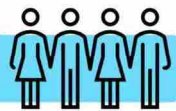
災害発生から数日は、普段どおりに買い物ができないことが考えられますので、生活必需品を準備しておきましょう。

- | | |
|---|--|
| ☐ 飲料水（1 人 3L×3 日分） | ☐ レトルト食品、乾麺、即席麺、お菓子 |
| ☐ カセットコンロ、ガスボンベ | ☐ 食品用ラップ、アルミホイル |
| ☐ ティッシュペーパー、トイレットペーパー | |
| ☐ マスク、消毒液、ウェットティッシュ | ☐ 新聞紙、段ボール、ガムテープ |
| ☐ ランタン、マッチ、ライター、ろうそく | |
| ☐ ポータブルストーブ（電源不要）、湯たんぽ、使い捨てカイロ | |
| ☐ | ☐ |

- ・ 備えておくべきものは家庭によって異なります。各家庭で必要なものを準備しましょう。
- ・ 普段の食料や日用品を少し多めに買い置きし、使った分だけ買い足すことで、常に一定量の備蓄をするローリングストックも有効とされています。

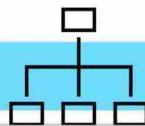


⑦ 個別避難計画



- ・高齢者や障がいのある方など、本人や家族だけで避難することが困難な方について、町内で誰が支援し、どこに避難するかなどをあらかじめ整理したものを個別避難計画といます。
- ・個別避難計画の策定は任意ですが、前田ゆたか町内会では、平成31年度以降、札幌市から避難行動要支援者名簿を取得し、支援を必要とされる方の了承を得ながら策定を進めています。
- ・個別避難計画に基づく支援は、避難を手伝うだけではなく、避難が必要な状況かどうかなど情報のやり取りも行っていますので、日頃からのかわりも大切にしています。
- ・災害時の避難に支援を必要とされる方は、町内会役員にご相談ください。

⑧ 前田ゆたか町内会自主防災会 組織図



本部長（町内会長）

災害活動等の指揮調整

副本部長（副会長）

本部長の補佐・情報連絡

給食給水班（女性部）

救援物資の配布、水の確保、炊き出し

調整班（防災防犯部）

各活動班との調整、防災機関との調整

情報連絡班（総務部、会計部、広報部）

災害・被害状況の把握、安否確認

救出救護班（環境衛生部、文化厚生部）

救出・救助、負傷者の応急手当

消火班（青少年部）

出火防止の呼びかけ、啓蒙

避難誘導班（交通部、福祉部）

避難経路の安全確認、避難誘導

⑨ 今後の活動及び活動目標



- ・本計画を基に、広報啓発活動を重ね、新川に隣接しているという地区の特性を知っていただくとともに、大雨災害の危険性を再認識していただきます。
- ・本計画を踏まえ、定期的に避難訓練等を開催し、前田ゆたか町内会に住む皆さん一人ひとりの防災意識の向上、並びに命を守るための行動の習得を図ります。
- ・本計画を参考に、多くの方が非常持出品や備蓄品を備えるよう普及啓発に努めます。
- ・個別避難計画に基づく支援者・要支援者の登録を進め、逃げ遅れてしまう方を一人も出さないための体制の整備を進めます。
- ・町内会のイベント等を計画的に実施し、有事の際、円滑に協力し合えるよう、日常から顔の見える関係性の構築に努めます。

前田ゆたか町内会防災マップ

札幌市防災アプリ
「そなえ」



事前にデータをダウンロードしておく
ことでオフラインでも地図上に現在
地と避難場所を表示してくれます！

災害伝言ダイヤル
音声ガイダンスがながれます。

171



緊急連絡先

消防・救急車 119

- ・手稲消防署 TEL 681-2100
- ・手稲前田出張所 TEL 694-6119
- ・手稲曙出張所 TEL 681-1119

警察への通報 110

- ・手稲警察署 TEL 686-0110
- ・手稲警察署前田交番 TEL 682-1488

病院

- ・手稲溪仁会病院 TEL 681-8111
- ・かなもり外科胃腸科肛門科クリニック
..... TEL 686-1212

区役所

- ・手稲区役所 TEL 681-2400

連絡所

- ・前田まちづくりセンター
..... TEL 683-4422

指定緊急避難場所 兼 指定避難所

- ・前田中央小学校 TEL 681-4811
前田8条12丁目
ソーラーパネルあり
- ・前田中学校 TEL 682-9511
前田7条13丁目
緊急貯水槽あり
- ・前田北中学校 TEL 694-2320
前田10条15丁目
- ・北海道科学大学 TEL 681-2161
前田7条15丁目
自家発電装置あり、電源が使える

非常持ち出し品

食料などは、ローリングストックを心がけましょう！

- | | | |
|------------|-----------|------------|
| ・家族3日分の食料 | ・マッチ・ライター | ・携帯ラジオ |
| ・家族3日分の飲料水 | ・ロウソク | ・ロープ |
| ・手袋・はきもの | ・テント | ・貯金通帳・印鑑 |
| ・ナイフ・缶切り | ・頭巾・ヘルメット | ・ちり紙・ |
| ・毛布 | ・医薬品 | トイレットペーパー |
| ・タオル | ・懐中電灯・電池 | ・ウェットティッシュ |
| ・寝袋 | ・下着類 | ・現金 |

洪水避難地図

川が氾濫することで発生する浸水を想定

命を守るため、
早目の行動をとしましょう！

札幌手稲高校

前田北中学校

前田中央小学校

北海道科学大学

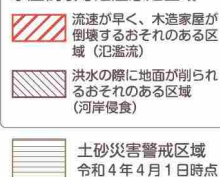
前田中学校

前田小学校

【浸水の深さに応じて色を分けて表示しています】



家屋倒壊等氾濫想定区域



凡 例

- 指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹）
- ▶ 災害から身を守るために緊急的に避難する場所です。災害の種類ごとに指定しています。
 - ▶ 災害の危険性がなくなるまで一定期間滞在などする指定避難所（基幹）を兼ねています。
 - ▶ は洪水・土砂災害時に使用できません。
- 指定避難所（地域）
- ▶ 指定避難所（基幹）を補完する施設であり、状況に応じて開設されます。

内水氾濫避難地図

下水道で雨を排水しきれず発生する浸水を想定

【浸水の深さに応じて色を分けて表示しています】



過去の浸水箇所
この区域内では過去に浸水が発生していますので、着色されていない場所であっても浸水の発生に十分注意してください。

内水氾濫の浸水想定の対象外区域
（下水道で雨を排水していない区域または市外）

土砂災害警戒区域
令和4年4月1日時点

前田北中学校

前田中央小学校

北海道科学大学

前田中学校

液状化危険度図

【液状化危険度に応じて色を分けて表示しています】



前田北中学校

前田中央小学校

北海道科学大学

前田中学校

(改定履歴)

[illegible]

前田ゆたか町内会 地区防災計画
令和6年10月策定

発行 | 前田ゆたか町内会
協力 | 札幌市危機管理局